

令和 5 年

第 1 回防府市議会定例会

一 般 質 問

3 月 2 日（6 人）

1 河村 孝・2 今津 誠一・3 山田 耕治・4 梅本 洋平
5 石田 卓成・6 和田 敏明

3 月 6 日（5 人）

7 村木 正弘・8 田中 健次・9 河杉 憲二・10 松村 学
11 清水 力志

3 月 7 日（5 人）

12 藤村 こずえ・13 三原 昭治・14 高砂 朋子・15 牛見 航
16 吉村 祐太郎

No.	1	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1	2050年カーボンニュートラルについて	昨年12月2日、山口県は、2050年までの温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを旨とする「カーボンニュートラル宣言」を行い、実行計画の素案では、平成25年度比の温室効果ガスの排出量の従来の削減目標を、現行の17.8%から35.1%と、約2倍引き上げる等、より積極的な改訂作業が進められている。 また、国においては、自治体向けの「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の拡充が審議されている。 このような県や国の動向の中、より一層「2050年カーボンニュートラル」を、推進すべきと考える。本市の新年度に向けての施策の推進について伺う。
2	誰一人取り残さないデジタル化の推進について	デジタル化による地域活性化のために、全国の自治体で具体的な取組が進められている。特に、マイナンバーカードを利用し、窓口で証明書の請求や届出を行う際に、申請書を書かなくて簡単に済む「書かない窓口」が注目されている。本市においても、デジタル化の恩恵を市民の身近にする取組が必要だと考える。ご所見を伺う。
3	自転車事故のない社会について	自転車は、環境に優しく、身近で手軽な乗り物である反面、大きな事故につながる可能性がある。死亡事故を防ぐために、道路交通法の改正によって、本年4月より、自転車に乗る時のヘルメット着用が、努力義務となる。これを契機に、本市においても、自転車事故のない社会を目指し、推進すべきだと考える。ご所見を伺う。 (1) 本市としての自転車の交通ルールの周知と徹底について。また、事故減少のための条例の制定について。 (2) 市役所の公用自転車の運用について。 (3) 自転車利用環境の整備について。 (4) 自転車乗車用ヘルメット購入の補助金について。 (5) 自転車保険加入の義務化について。

No.	2	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1 インボイス制度の問題点		本年１０月１日から消費税のインボイス制度が始まる予定とされている。 しかしこの制度の導入によってさまざまな問題が発生することが、多くの経済識者や現実に事務処理に携わる税理士からも指摘されている。 特にこれは、コロナで苦しむ中小零細事業者やフリーランスをさらに痛めつける過酷な増税政策である。 この制度の問題点や導入の真の目的を明らかにしたい。

No.	3	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	青果市場の環境整備について	(1) 昭和44年に開設し、平成元年に現在の場所へ移転し30年以上経っている。施設の課題や今後の施設計画は？ (2) 買受人などの市場関係者数や青果物の取扱数量の推移状況は？また、市場関係者の募集もおこなっていると思うが成果は？ (3) 建屋と敷地の利用状況は？ (4) 施設の有効活用を検討すべきと思うが、如何か？
2	道路環境整備と運転マナーの啓発について	(1) 昨年6月から、道路の陥没やカーブミラーの不具合等、市民の皆さんが携帯等で写真を撮り情報展開するシステムの運用を始めているが、検証及び運用状況は？ (2) 高齢者の交通事故防止として、市内で誤って逆走しそうになる箇所の把握と安全対策は？ (3) 事故を起こさないからよい、ではなく、事前の教育や意識付けが大切と思うが、如何か？ (4) 自転車の悪質運転に対し「赤切符」の交付も開始され、この4月からは、自転車に乗車する者に対する乗車用ヘルメットの着用も努力義務となる。マナー違反に対する現状把握と啓発は？

No.	4	梅本 洋平
質 問 事 項		要 旨
1	令和5年度当初予算について	令和5年度予算編成方針によると、地方税等の一般財源総額を今年度並みに見込む一方、第5次防府市総合計画である「輝き！ほうふプラン」に掲げる諸事業を着実に推進することを第一に、原油価格・物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症対策などもしっかり取り組んでいくとされている。 しかし、予算編成にあたっては、電気代などの物価高騰により、かなりの財源不足額が見込まれており、大変厳しい舵取りが予想される。 そのような中、令和5年度当初予算は、昨年の過去最大の予算規模をさらに大幅に更新することとなったが、市長のご所見を伺う。
2	消防力の充実強化について	(1) 防府環状線をはじめとする道路ネットワークの整備により、市の防災ネットワークの構築が一層進むことが期待される。このことが、とりわけ市の消防力にどのような影響をもたらすか、市長のご所見を伺う。 (2) 県道防府環状線の整備が進められ、その環状線に隣接した場所に消防署東出張所の移転・建替えが進められているが、その進捗スケジュールと施設概要について伺う。

No.	5	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1	不法投棄をされやすい場所や、被害を受け続けている大平山山頂公園への防犯カメラの設置について	(1) 人目に付かない場所でのゴミの不法投棄が、年々増えています。これまで市として、どのように考え、対策をされてきましたか。 (2) 昨年、相談を受けた、大崎の玉泉湖と、天神山については、担当課に看板の設置をお願いしましたが、ボランティアの皆さまと一緒に、5週にわたって片付けをした天神山も、綺麗にした直後に、再びゴミが捨てられています。これらの場所に防犯カメラを設置する必要があると思っているのですが、執行部としては、今後どのような対策を考えておられますか。 (3) 人目に付かない場所だけでなく、国道2号線の交差点には、信号待ちをする際に、トラックのドライバーが尿入りのペットボトルや、レジ袋に入った弁当の容器を捨てられているのが目立ちます。これらの対策としても、防犯カメラや、看板の設置が必要になると思っているのですが、執行部としては、今後どのような対策を考えておられますか。 (4) 以前より、人工芝を剥がされたり、ベンチを倒されるなどの、被害を受け続けている大平山山頂公園ですが、こちらでも防犯カメラを設置する必要があると考えています。執行部としては、今後どのような対策を考えておられますか。
2	農業公社の今後のあり方について	これまで市は、農業公社に対して、防府市農作業受託者協議会メンバーが活用できるコンバインの導入補助などをされてきましたが、資源価格高騰などの影響で、これまでは自分で持ち込んできた農機の更新ができなくなったために公社の請負作業を止めようかと考えている受託者もいて、今後は更に農機導入の予算を増やしていく必要があると考えています。新年度予算案においても、農業委員会などから要望のあったレンタル農機の導入補助経費が新規事業として計上されており、嬉しく思っています。更に、新規事業として、農業公社に新たに2名の地域おこし協力隊を受け入れ、担い手の確保に取り組むとありますが、市長としては、今後、農業公社にどのような役割を担って欲しいと思われていますか。

No.	6	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1	自治会支援について	自治会助成金制度について
2	防犯灯について	自治会が管理する防犯灯について
3	交通安全施設について	(1) 市内全域のカーブミラーの修繕計画について (2) 通学路におけるカーブミラーについて
4	横断歩道のカラー化について	通学路等の横断歩道のカラー化について

No.	7	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1 スポーツによる地域活性化について		スポーツを市民の健康づくりや観て楽しむためだけではなく地域活性化に活用する自治体が増えている。本市においても第2次防府市スポーツ推進計画において野球場等「スポーツ施設の充実及び活用」の他「スポーツによる交流人口の拡大と地域づくりの推進」が掲げられている。 本市のスポーツ施設を集約したスポーツゾーンを利用し、野球だけではなく、その他のスポーツでも日本のみならず、世界中からプレーヤーが集まってくるように、「スポーツツーリズム」に取り組んでいくことが、地域の魅力発信、交流人口の増加、防府ファンの拡大につながり、本市が更に活性化するのではないかと考える。スポーツツーリズムの推進についてのご所見を伺う。
2 市長施政方針について		物価高騰は食料品や電気など幅広い分野に及び、市民や中小企業からの不安の声が多い。国においては、昨年1月からガソリンなど燃料油に対する補助を実施。電気・都市ガス代の抑制効果が期待される。 しかし、電気・ガス代は上昇傾向にあり、特に、電気代について燃料費の高騰を理由に、来月以降、電力会社でさらなる値上げが見込まれている。また、食料品をはじめ様々な物価の上昇が不安視されている。 今後さらなる物価高騰が予想される中、どのように市民の暮らしを守るのか、その対策を伺う。 (1) 現在行われている、子育て世帯生活応援事業、給食費高騰緊急対策事業、プレミアム付商品券、中小事業者等物価高騰対策事業の進捗状況について (2) 今後の物価高騰対策について

No.	8	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	ヤングケアラーへの支援について	山口県の実態調査の結果を受けて、今後はどうのように支援について、取り組んでいくのか。
2	子どもの読書環境の整備について	(1) 最新の脳科学では、スマホやタブレットの長時間利用は学力の低下を招き、本の読み方で学力が決まると言われています。家庭でのスマホやタブレットの使用について検討し、周知すべきではないか。 (2) 昨年の6月議会で、文部科学省の第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を示し、学校司書の増員をもとめ、発表された新年度予算では14人と1人増員されます。しかし、国の示す目標1.3校に1人となる20人にはまだ不十分であり、今後の増員の計画を策定すべきではないか。
3	市庁舎建設に関連する課題について	(1) コンビニの誘致は可能なのか、職員の福利厚生も考えた売店が必要ではないか。 (2) 現在の市長室の壁面にある防府市鳥瞰図は、新庁舎の適切な場所に移設すべきではないか。 (3) 文化福祉会館解体の際には、中庭にある塩田に関する壁画を残す形での整備を検討すべきではないか。

No.	9	河杉 憲二
質 問 事 項		要 旨
1 駅周辺の更なる魅力の向上 とにぎわいの創出について		第5次防府市総合計画の重点プロジェクト「活力ある中心市街地の形成」を掲げ、駅周辺の整備に積極的に取り組んでおり、まちなかが目に見える形で大きく変化してきている。 今後、新型コロナ対策における行動制限の緩和などにより、社会経済活動が活発になる中、駅周辺の活性化を確かなものにしていく必要があると思う。 今後の駅周辺の魅力向上とにぎわいの創出について、どのように取り組んでいくのか。

No.	10	松村 学	
質 問 事 項			要 旨
1 法定外公共物（赤線・青線）の維持管理について			平成12年4月1日の地方分権一括法施行により、国の法定外公共物（赤線・青線）は市町村が所有者となり、財産管理・機能管理をすることになりました。 本市でも平成16年10月1日施行の防府市法定外公共物管理条例第3条第1項において、市は法定外公共物の適正な利用が確保されるように管理しなければならないと規定されています。また、同条第2項では法定外公共物の利用者は、当該法定外公共物を常に良好な状態に保つように努めなければならないとあります。 しかし、その箇所は無数にあり、地域の方が管理するには限界があります。 条例施行から18年たった今、地域の人口減少、コミュニティ低下と超高齢化の波が一気に押し寄せ、地域で維持管理をしたくても、いろいろな理由で出来ないことが全国でも大きな課題となっています。防府市議会でもたくさんの議員がこの問題を指摘しています。 市としては法定外公共物の補修の資材、除草作業の資材支給の支援があるものの、そもそも補修作業や除草作業ができないくらい高齢化し、地域の人口減少により、作業できる人がいないことから、地域によっては住民がお金を支払い、業者に頼んでいる所もあり、自治会内で誰が負担するのか紛争している地域もあります。 世情が大きく変わっている今、市として、法定外公共物の維持管理に対する新たな支援策を講ずるべきと考えますが、ご所見を伺います。

No.	1 1	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1 防府市ファミリーサポート事業について		(1) 現在の登録者数は (2) これまでの利用実績は
2 高齢者福祉について		加齢性難聴者の補聴器購入助成の創設を要望する。

No.	12	藤村 こそえ
質 問 事 項		要 旨
1 ふるさと納税について		ふるさと納税の制度が始まって15年が経つ。本市も年々寄附金の実績は上がっていて、本市の事業の推進に寄与し、また地域経済の活性化にもつながっているところである。 (1) 本市の現状と課題について伺う。 (2) 指定寄附事業について基金の状況、今後の活用方法について。 (3) 今後はふるさと納税をきっかけに寄附していただいた方との関係をいかに築くかということも重要と考えるがご見解を伺う。

No.	13	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	法定外公共物（赤線）の維持管理について	法定外公共物の赤線の維持・管理について、これまで何度も一般質問で取り上げられてきたが、法定外公共物の管理者である市として、その現況や実態について、どのような調査を行い、どのように把握しているのか。また、実態の対応に対して、どう取り組んでいくのか。
2	市民の安全・安心確保のための防犯対策について	近年、連続強盗事件をはじめ、殺人や通り魔事件など、市民や世間を震撼させる凶悪犯罪が続発しているが、市として、市民の安全・安心のための防犯対策についての考えと、取り組みは。

No.	14	高砂 朋子
質問事項		要 旨
1	防災対策の充実強化について	気候変動による災害の激甚化や頻発化に対して、様々な対策強化が重要。これまで福祉の観点、女性の視点から、身近な防災対策の充実を求めて来ている。以下2点について伺う。 (1) 避難所運営等の取組について、防災倉庫の整備状況及び備蓄物資の確保・更新状況を伺う。 (2) 「女性向け防災セミナー」の開催状況を伺う。また、地域防災力向上のために、広く市民の皆さまへの啓発にどのように取り組んで行かれるのか伺う。
2	高齢者等緊急通報体制整備事業の拡充について	高齢者や障害者等の方が、住み慣れた地域で安心して充実した生活を送ることが出来るよう、緊急通報装置の貸与対象者の拡充を図るべきではないか。本市のご所見を伺う。
3	子宮頸がん予防の取組について	(1) 子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンは、昨年4月より定期接種対象者へ積極的勧奨が9年ぶりに再開。定期接種年齢を過ぎてしまった女性への「キャッチアップ制度」も開始。本市の対応と現状を伺う。 (2) 高い感染予防効果があるとされる9価ワクチンの定期接種化に伴う対応を伺う。

No.	1 5	牛 見 航
質 問 事 項		要 旨
1 近隣他市と比較して見えてくる本市の強みを活かした少子高齢人口減少対策について		(1) 第 5 次総合計画で掲げている令和 7 年に向けた人口維持目標 1 1 万 2 , 0 0 0 人以上の進捗状況並びに、若者の転出超過人数を半減にする目標についての現状までの推移と課題について (2) 近隣他市との人口転入、転出の競争についてどのような考えか。 (3) 近隣他市との土地価格の比較とそれがもたらす企業誘致と人口流入の優位性についてどのような考えか。 (4) 子育て世代への支援策における近隣他市との比較と本市の強みについてどのように考えているか。 (5) 近隣他市に負けないトップセールスを含めた情報発信についてどのような取り組みを行っており、どのような課題があると考えているか。

No.	16	吉村 祐太郎
質 問 事 項		要 旨
1	観光PR動画について	現在、たびたびほうふ等の観光PR動画の登録者数及び再生回数が少ないが、今後どうするのか。
2	自治会の回覧、市広報について	回覧、市広報の効率化について

